

令和2年第3回熊野町議会全員協議会

会議録

1. 招集年月日 令和2年3月31日

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 令和2年3月31日

~~~~~○~~~~~

4. 出席議員（15名）

|           |          |
|-----------|----------|
| 1番 水原耕一   | 3番 光本一也  |
| 4番 中島数宜   | 5番 尺田耕平  |
| 6番 竹爪憲吾   | 7番 諏訪本光  |
| 8番 沖田ゆかり  | 9番 片川学   |
| 10番 時光良造  | 11番 民法正則 |
| 12番 荒瀧穂積  | 13番 山吹富邦 |
| 14番 山野千佳子 | 15番 中原裕侑 |
| 16番 大瀬戸宏樹 |          |

~~~~~○~~~~~

5. 欠席議員（1名）

2番 福垣内邦治

~~~~~○~~~~~

6. 説明のため出席した者の職氏名

~~~~~○~~~~~

7. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長

西村隆雄

~~~~~○~~~~~

8. 案件

【議会】

- (1) 「ワールドカフェ in くまの」の実施について（協議）
- (2) 各常任委員会の活動状況について（報告）
- (3) 議会運営委員会の活動状況について（報告）

(4) 議会広報特別委員会の活動状況について(報告)

(5) その他

~~~~~○~~~~~

9. 議事の内容

(開会 9時30分)

○議会事務局長(西村) それでは、済みません。時間になりましたので、お願いしたい
と思います。

本日は、福垣内議員さんがお休みでいらっしゃいます。中原議員さん、ちょっとおく
れるということで御連絡いただいております。

それでは、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) おはようございます。

議員の皆様方、本日はお忙しい中を全員協議会にお集まりいただきまして、ありがと  
うございます。皆様からさまざまな御意見をいただきながら、本日の全員協議会を円  
滑に進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから全員協議会を開会します。

本日の全員協議会は、議会からの協議案件1件、報告案件3件について御協議をいた  
だきたいと思います。

それでは、早速協議に移ります。

協議案件、「ワールドカフェinくまの」の実施について、協議したいと思います。

まず、事務局長から説明をさせます。

西村事務局長。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長(西村) 済みません。それでは、私のほうから「ワールドカフェ」につ
きまして説明をさせていただきたいと思います。新しい議員さんもいらっしゃいます
ので、まず「ワールドカフェ」とはどのようなものか、いま一度確認いただけたらと
思います。

「ワールドカフェ」ですが、話し合いの手法の一つということで、後ほど確認いただ
きますけども、平成28年度と29年度に実施をされております。いきさつといたし
ましては、平成28年度に、議会だより創刊100号という記念すべき号を発刊する

に当たり企画されたもので、町内の中学生生徒を対象として、「熊野を『住みたいまち』、『住んでよかった』と思える“まち”にするためには何が必要か ～魅力あるまちづくりに何が必要か～」というテーマで、議員と生徒が意見交換をし、それを記事掲載されております。その後、この事業を継続してやるほうがよいだらうと全員協議会で協議をされまして、平成29年度には議会運営委員会のほうで引き継がれて、同様のテーマで実施をされました。しかしながら、その後は災害、あるいは改選のことなどから見送られております。

A3判ですけれども、資料1のほうをごらんいただきたいと思います。

「ワールドカフェ」は、その名のとおり、“カフェ”にいるようなリラックスした雰囲気の中で、参加者が少人数に分かれたテーブルで自由に意見を出し合い、途中何度かテーブルとメンバーをシャッフルしながら話し合いを発展させていくという、そういうような対話手法の一つです。

テーブルやメンバーを何度かシャッフルすることにより、全参加者あるいは多くの参加者と意見交換ができ、また少人数で話すということで、大勢の前で話すよりも話しやすいということがあるようです。そうした「ワールドカフェ」による話し合いの手法は、枠の中にございますような場合に効果を発揮すると言われております。「参加者全員に自由に意見を言ってもらいたい。」とか、「いつもと違う雰囲気話し合いをしたい。」とか、「多くの知恵や考えを集めたい。」などが挙げられております。

次の2、大まかな流れですけれども、下の図もあわせてごらんいただきたいと思いますが、1つのテーブルで四、五人が話し合いをします。1ラウンドを20分として、4ラウンド行います。ラウンドが終わるごとに、メンバーチェンジ、シャッフルを行い、異なるメンバーで意見を出し合うのが特徴となっております。その際、全員が移動するのではなく、ホスト1人、これは基本的に議員さんということになりますが、ホストは席を動かず、移動してきたメンバー、ここでは旅人という形でされておりますけれども、移動してきた中学生に、それまでのラウンド中、どんな会話が生まれたかを説明していただき、中学生はまたそのテーブルでアイデアを出すというような形で、これを2回繰り返して、3ラウンドが終わったら、4ラウンド目として最初についていたテーブルに戻って意見をまとめるというような流れになっております。

右のページに移りまして、次の3、エチケットでは、自由な対話のために大切なこととして、「対話を楽しむ」とか「話をよく聞く」などの例が挙げられております。

1枚めくっていただきまして、資料2のほうをお願いしたいと思います。

資料2は平成29年度の実施状況を挙げております。

まず、対象といたしましては町内両中学校の生徒で、基本的には3年生を対象としたものでした。実施時期は授業に影響のない夏休みとされ、平成29年度は8月3日の午後、実施をされております。実施場所はこの役場の3階の会議室。参加人員といたしまして、議員は当日来られなかった議員もおられたので13人、中学生は各中学校から16人ずつの32人でした。8グループの構成で、1グループはごらんのような構成で、計5名でした。

次のテーマは、平成28年度と同じものとして、「熊野を『住みたいまち』、『住んでよかった』と思える“まち”にするためには何が必要か」、サブタイトルとして「魅力あるまちづくりに何が必要か」でした。

右のページに移りまして、実施後ですけれども、(1)で、議会運営委員会で中学生から出された意見・アイデアを各常任委員会ごとに取りまとめて、議長へ報告をし、(2)で、議長は全協でその取りまとめ結果を報告するとともに、各常任委員会へ調査・研究を依頼し、(3)で、各常任委員会で意見・アイデアが議会活動に反映できるものであるかを精査し、反映可能なものについて調査・研究をし、(4)で、各常任委員会で調査・研究された結果を議運の委員長が両中学校へ報告をされたというふうになっております。

以上、ごめんなさい、ざっとでございますけれども、「ワールドカフェ」についての説明とさせていただきます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 事務局長からの説明が終わりましたので、これより「ワールドカフェ」を令和2年度に実施するかどうか、まずそこから始めたいと思います。

タイムリミットとして、今決めておかないと、来月ぐらいになるとちょっと調整が難しいという事情がありますので、きょう、するかしないかだけでも決めたいと思うんですが、御意見のある方はよろしく願いいたします。

山吹議員。

~~~~~○~~~~~

○13番（山吹） これは行ったほうがよいとは思いますが、今の状況、新型コロナの件もありまして、やる方向はいいんですが、やっぱり子供が中心になるので、教育

委員会、また学校と、正副の議長さんなり、議運の委員長さんなりが相談かたがた、出向いていかれて、学校側の方針というのもあると思うんで、その辺考えてやってほしいと思います。

このワールドカフェそのものはいいい結果を生んでると思うんです。だから、行ったほうがいいんですが、その辺を考慮しながら進めていってもらったらと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

今も意見がありましたように、学校側の意見を吸い上げてということのようですが、ほかに。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 今の御意見に補強ですが、ことしは夏休みがないかもわかりません、この状態からしますとね、学力の問題もありますから。ということと、もう一つは、前回しとるものをまだまだ課題を積み残しておるわけよ。前回出たものをある程度処理というか、可能性を整理してから当たっていかないと、同じようなものが繰り返すだけで、参加した人の期待に沿えなくなる、やりっ放しになつとるという。

だから、前回どういうのが出て、どこまで達成できたというのも、この中の資料に出てきて、それは議員としての課題ですから、改めてその資料もいただきたいと思えます。そう変わったものは出てきません。新幹線を通してくれ、飛行場をつくってくれという話はないから、熊野は。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） やるかやらないかはそれからだということですか。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） そうです。そういうことも見定めて。非常にフレキシブルな対応ができるような体制にしとかなないと、ええことなんよ。ええことなんだけど、そういう課題、やりっ放しで何やということにもなりかねん状態で、わしは今あるんじゃないかと思えます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ほかにございませんか。

沖田議員はずっと運営されてきたと思うんで、そういう事情からちょっと御意見あり

ませんか。

~~~~~○~~~~~

○8番（沖田） 座ったままでいいですか。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） いいです。きょうはいいです。

~~~~~○~~~~~

○8番（沖田） 今、山吹議員がおっしゃったように、中学生と議会でこういうワールドカフェをするということに関しては、私もかかわったときに両中学校の校長といろいろ話をさせていただきましたが、正直、最初の校長の印象というのは、今、荒瀬議員がおっしゃったように、ゆったりやらんかったりするんじゃないら、逆に学校側としては迷惑みたいな、はっきりそうはおっしゃいませんけども、そういうニュアンスの受けとめ方をされてました。

そういうこともあって、2回目からはきちんと終わった後に中学校の校長へ報告するところまできちっとやるということで進めてきたんですけど、非常に子供たちにとっては刺激になって、いい機会で、また学校サイドからも、今、うちは町長が出前授業をやったり、租税公課の授業があったり、そういう流れの中で、学校側としては夏休みにこれをやっていただくというのは全体の1年間の学校のスケジュールの流れとしてとてもありがたいということで、これをやったことによって、その後の中学校3年生の子供たちの受験に対する気持ち、あと面接に臨むときにしっかり将来のまちのことを考えた意見を述べられる子供たちになったということで、非常に好評をいただけたというのがあります。

しかしながら、今おっしゃったように、今新型コロナの感染拡大ということがありますので、そこはやっぱり学校サイドの意見を先に伺うということが重要なのかなというふうには思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ほかに御意見はありませんか。例年と違って。

民法議員。

~~~~~○~~~~~

○11番（民法） 私も山吹議員さんの言われたように、やったほうが良いとは思っているので

すが、このコロナウイルスの関係で、このたびはちょっと学校側と協議して、慎重に、やるのであれば慎重にやるべきと思いますし、このテーマなんです、子供たちも夢が大きいというか、例えば熊野へ鉄道を敷いてくれとかいうような大きなあれがあるじゃないですか。そういったことよりも、このテーマをこれでまた行くのか、ちょっとしたテーマを変えていくのかということも、やるのであれば考えてやっていただきたいというのが私の意見でございます。やるのであれば慎重にやっていきたいと思えますので、それぐらいです。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ほかにございますか。

時光議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（時光） この2回、私も経験させていただいてますし、沖田議員が言われたように、非常に子供たちも生き生きといろんな意見を言ってくれたし、非常にいいことだとは思いますが、何度も先ほど皆さん言われたようにコロナの問題がありまして、荒瀬議員も言われたように、夏休みがこのままじゃないような状況になりかねんと思います。そういった中で、今結論を出すとしたら、私も議運の委員長としてことはやりたかったんですけど、どちらかというところと不可能じゃないかという思いがありますので、今結論を出すとしたら、本年度はやめたほうがいいんじゃないかというふうに思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 皆さん、ほぼ同じような意見かなと思います。コロナさえなければどうってことないんですけども、コロナの終息はいまだにわかりませんので、一度、じゃあ例えば私と副議長で中学校と一回話をしてみて、それでちょっと難しいということならもうそれでしないという結論にさせていただいてよろしいですか。もしやりたいということがあるなら、それから今度は内容とか、詰める時間はありますので、やるかやらないかだけを決めて。

~~~~~○~~~~~

○9番（片川） 先に教育委員会に聞かれたほうがいいですよ、学校に行かれる前に。


~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 以上、三つの常任委員会の報告が終わりました。

質問や御意見がございましたら、挙手にてお願いしますが。

（「なし」の声あり）

○議長（大瀬戸） 特にないようでしたら、次に移ります。

報告案件、議会運営委員会の活動状況について、議会運営委員長から説明を受けたいと思います。

時光議会運営委員長、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○10番（時光） 議会運営委員会といたしましては、令和2年3月5日、定例会について、発議、また令和2年度の予算特別委員会の進行方法等について協議をいたしました。

続いて、令和2年3月13日、金曜日ですね。同じくこれ追加議案等につきまして協議いたしました。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） この報告につきまして、質疑はございませんか。

（「なし」）の声あり

○議長（大瀬戸） ないようでしたら、この程度として、次の報告に移りたいと思います。

報告案件、議会広報特別委員会の活動状況について、広報特別委員長から説明を受けたいと思います。

諏訪本議会広報特別委員長、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○7番（諏訪本） 前回以後は、1月21日に、12月の定例議会の113号の記事の最終校正をしております。それから、この3月の議会を受けて、114号の紙面構成について、3月17日に第1回の、今号114号の第1回の広報委員会を開催しております。その中で、1件は熊野議会だよりの編集方針についてということで今まとめております。本来であればここでもう出したかったんですけども、ちょっとまだ協議事項がありますので、次回に回したいというように思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 質疑がございましたら、お願いします。

（「なし」の声あり）

○議長（大瀬戸） ないようですので、議会広報特別委員会の活動状況についてはこの程度として、次の協議に移りたいと思います。

続きまして、その他ですが、お手元に荒瀧議員から資料が配付されております。お目を通していただきたいということでした。

荒瀧議員、何か一言あれば。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 前回の議会、一般質問の中でも申し上げていることでございます。

まず一つ、災害についてのことでございます。30年7月の時点でどういう状態であったかという。どんどん日に日にハザードは進化しておるわけですが、あのとき12人の人が亡くなられたと。10人の方が重傷を負われておると。大変重たい災害だったわけでございます。

ここへ書いてございますが、2017年3月、これは平成23年ごろから出ておまして、時光議員の一般質問もこれをベースに議会でされてます。このときには、避難指示のときには直ちに避難してくださいと。私ども議員も、このとき逃げりゃええんじゃのというレベルだったのが、次のページ、2018年3月、この段階では避難指示は緊急で、もう避難はしたらだめよと。身を守る行為で動いてくれと、こういうことになったわけでございます。このいきさつが非常に不透明。これは住民の問題じゃなくて、行政の情報が混乱しとったということでございます。

現時点ではもう一つ出ております。今度はレベル1じゃ、2じゃ、3じゃということです。第四小学校区にはこれが回っておりません。ということは、実質的に3種類のハザードマップがあるという状態になっておまして、これを整理しときませんと、条例の中でも大変難しい問題が、すき間があいていると思いますので、特別委員会を設けてもらいたいというのが申し出でございます。

あわせて、例の議会の発議の件。これについても、今後の14人体制でどういうふうな議会の運営をしていくか、この準備もしときませんと、すぐ3年たちますので、その検証委員会をあわせて特別委員会を御要望しておるところでございます。

6月でこれ一般質問をいたします。前回ちょっと重たいものを二つしましたものです

から、ちょっとやっぱり緊張いたしました、失礼いたしました。これが証拠品でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） いいですか。

ということでございます。

続きまして、事務局より、現時点でのコロナ関連の町の対応とか、現時点で決まっているものをちょっと説明してもらいたいと思います。

じゃあ、西村事務局長。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（西村） 町のホームページのほうにもこれ掲載がございますけども、現在の町の対応についてお話しさせていただきたいと思います。

まず、町主催のイベント等についてですけども、当初より延期とか中止とかという対応をとられてきました。これを4月30日まで延長するという形で、延期とか中止とかという対応にしたいということでございます。

それから、町所管施設、公民館であるとか、交流館であるとかといった施設の臨時休館ということですけども、現時点、これは3月27日の時点ですけども、その時点での協議の結果、4月の中旬、これは4月15日まで継続して臨時休館とするというふうにされております。

それから、学校についてですけども、3月27日の時点では、小学校、中学校の再開については、国のほうは再開したらどうかということがあったんですけども、ここ最近、まだすごいスピードで感染状況があるということで、今週になってから県のほうから示される方針を受けて対応のほうを考えていきたいということございました。

その中で、けさまたちょっと情報をいただいたんですけども、入学式等について、卒業式同様、参加者を制限し、それから時間を短縮してという状況になるのではないかと。まだ検討の段階でございますけども、今のところ、そういった方向で進められているということです。

それから、1学期についても、先ほどこの辺もお話しいただきましたけども、イベント、それから行事については中止、あるいは延期の方向で検討はなされているというような状況でございました。

以上です。

〇議長（大瀬戸） この時期に大変なことになって、まだ終息の雰囲気がないどころか、
どんどん悪くなって、広島市でも感染者が出たりしてます。我々も議会活動が不能に
ならないように、お互い気をつけていきたいと思うところでございますので、またこ
の1カ月、よろしく願いいたします。

まだ、何かございましたら受けますが、ないですか。

沖田議員。

〇8番（沖田） 済みません。議長にお願いなんですけれども、議会運営の際に、議員が
町長に答弁を求めることがございます。その際、議長が町長に対して答弁を促してい
ただきたいというのが私のお願いなんです。過去にいろんな議員が町長に答弁を求
めた際に、町長のほうに答弁を促すというような行為がなかった経緯もありますし、
今3月議会におきましては、私が求めたときには議長は何もおっしゃいませんでした
が、荒瀧議員が求めたときには、町長、答弁お願いしますということをはっきりおっ
しゃっておられました。16人の議員、公平に、議員の代表として議長が議会を運営
しているんですから、そういうことがないように、今後、気をつけていただきたいと
思いますので、よろしく願いいたします。

〇議長（大瀬戸） わかりました。特に他意はございません。そうじゃったかいね。

〇8番（沖田） 聞いてなかった、町長の話。

〇9番（片川） 荒瀧議員のときには自分が関係しとるけ、答えてもらわにゃ困るわいの。

〇12番（荒瀧） のらりくらり逃げよったやん。

〇8番（沖田） びっくりしたんです、荒瀧さんのときには言いおってじゃけ。

〇議長（大瀬戸） いや、あのときは、とめてくれとかいうようなことがあったので、答
弁してくれと言うただけな話で。

~~~~~○~~~~~

○8番（沖田） そりゃ、立派だなと思って見てたんです。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 申しわけございません。16分の1ずつにしますので。

ほかにございますか。

（「なし」の声あり）

○議長（大瀬戸） それでは、本日の全員協議会はこれで閉会とします。

お疲れさまでした。

（閉会 9時56分）

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会議長

熊野町議会副議長